

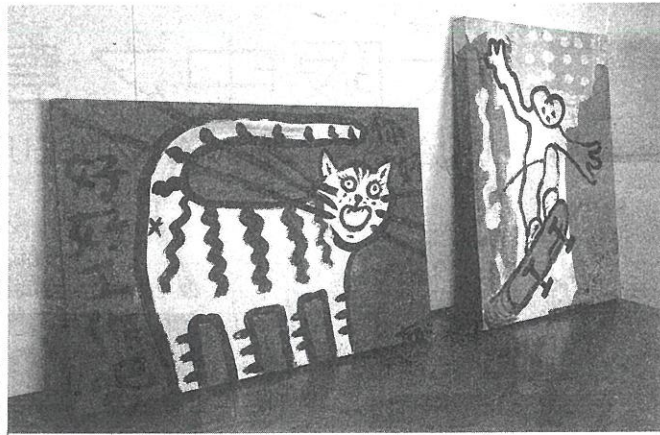
【第三种郵便物認可】

プロのアーティスト向け画材の大手メーカー、ホルベイン画材(大阪府東大阪市)は段ボール製のキャンバスを今夏から販売する。木枠に布を張った従来品に比べて価格は半分程度に抑えた。画用紙と異なり、額縁に入れなくても簡単に飾れる。趣味で絵画を鑑賞したり描いたりする人が減るなか、手軽さをテコに愛好家の裾野を広げる。商品は「ダンボールキャンバス」という名称で、A4サイズ(21センチ×30センチ厚さ3センチ)とスクエア(21センチ四方、厚さ4・5センチ)の2種類をそろえる。それぞれ白地と黒地があり、価格は3個セットで白地が税抜きで1500円、黒地が1650円の予定だ。ほぼ同じサイズのF4号のキャンバスと比較すると、4〜5割安い。段ボールメーカーの

関西

キャンバス 段ボールで

東大阪のホルベイン画材

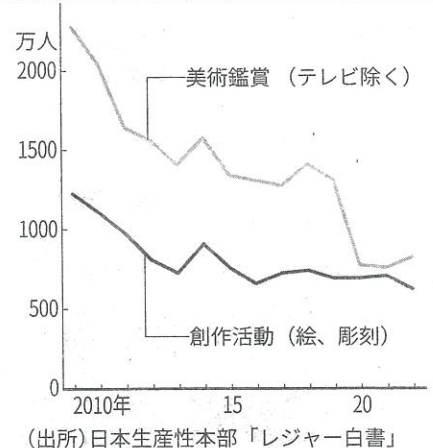


段ボール製のキャンバスは壁や棚にも簡単に飾れる (写真は原田とおるさんの作品)

ツタ紙工業(東大阪市)と共同で開発した。折り目や切り込みの入った1枚の段ボールを使用者が組み立てる構造で、同社が特許を申請している。ホルベインによれば、四辺を柱状にしたわみにくくしたほか、裏側には珍しい。長期の保存に

従来品の半額 アートの裾野広げる

アート人口は急減している



向かないためだが、プロで娯楽が多様化している向けに本格的な画材を提手がける背景には、アート人口の先細りに対する危機感がある。日本生産性本部の「レジャー白書」によれば、自分で絵を描いたり彫刻をした人(1年に1回以上)は2022年に620万人。新型コロナウイルスの影響があったとはいえ、直近のピークだった09年の半分までは落ち込んでいる。「ラリー(画廊)を通じて」

「自分が絵を描いたり彫刻をした人(1年に1回以上)は2022年に620万人。新型コロナウイルスの影響があったとはいえ、直近のピークだった09年の半分までは落ち込んでいる。「ラリー(画廊)を通じて」

値がつくが、段ボールはそうしたルートに乗らなにかわりに買いやすくでる可能性があるという。美術鑑賞は好きでも自分で絵を描くのはハードルが高いと感じている人にも、段ボールのキャンバスはひとつのきっかけになる、ホルベインはみている。アート関連のワークショップやアート好きが集まるバーなどを対象に、絵の具や筆のセット商品を提供することを検討している。そのほか小中学校にも、美術教材として売られている。生徒が絵を描くのは画用紙がほとんどだが、段ボールであればそのまますべての下に飾れる。生徒の励みになる。教員の作業負担も少なくなる。アートと段ボールという色の組み合わせは様々な可能性を秘めている。(高橋圭介)

配達・購読のお問い合わせ
0120-211-4946
7時〜21時

大阪 06-7639-7111
神戸 078-3211-0130
京都 075-2235-1261
奈良 0742-1588
兵庫 0774-2111